

富士宮市立学校再編計画

令和 9 年 4 月

富士宮市教育委員会

目 次

I	策定に当たって	1
1	計画の趣旨	
2	計画の位置づけ	
3	計画の期間	
II	学校の現状と課題	2
1	児童・生徒数の推移	
2	児童・生徒数の将来推計	
3	児童・生徒数及び学級数の現状	
4	施設整備の状況	
III	よりよい教育環境づくりを目指して	6
1	富士宮市の目指すこども像	
2	富士宮市の目指す学校教育	

I 策定に当たって

1 計画の趣旨

現在、富士宮市においても、少子化の進行に伴う児童・生徒数の減少は避けられない課題となっています。学校の小規模化が進むことにより、集団の中で切磋琢磨する機会の減少や、教職員定数の削減による指導体制の維持など、教育の質を左右する懸念が生じています。

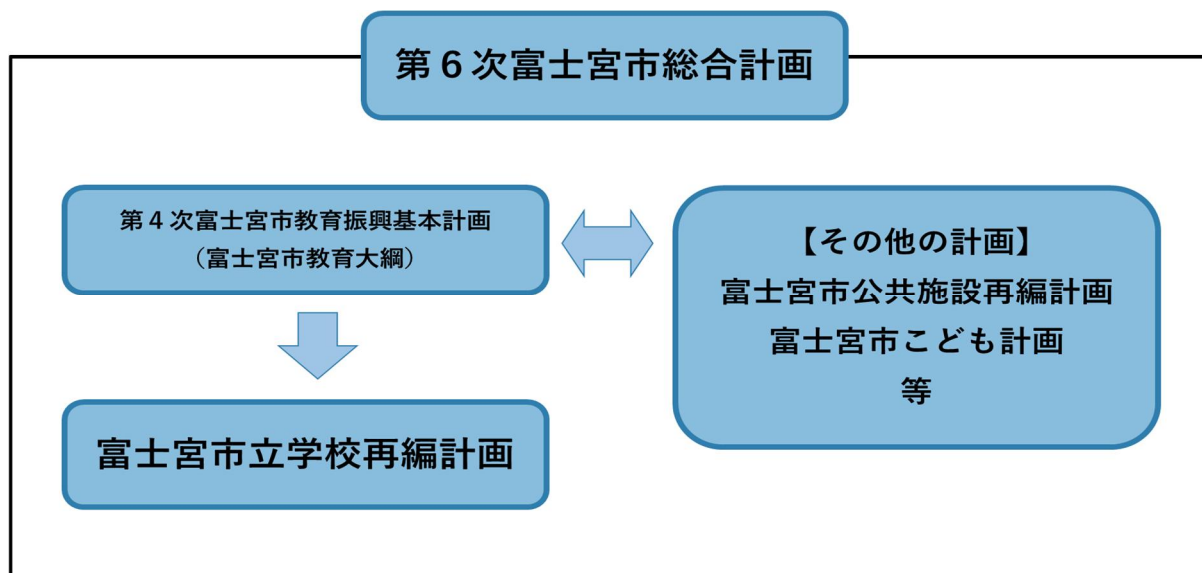
令和6年4月に策定した「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）において、目指す学校の規模など、適正化の方針や配慮する事項について基本的な考え方を示しました。

富士宮市立学校再編計画（以下「本計画」という。）は、この基本方針に基づき、今後15年間に取り組む内容を明らかにするために策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、「第6次富士宮市総合計画」及び「第4次富士宮市教育振興基本計画」の下、よりよい教育環境を整備し、教育の質の更なる充実を図るものです。

また、他の関連する計画との整合性を図りながら、児童・生徒数の推計状況や社会情勢の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて内容の見直しを行います。



3 計画の期間

本計画の期間は、令和9年度から令和23年度までの15年間とします。

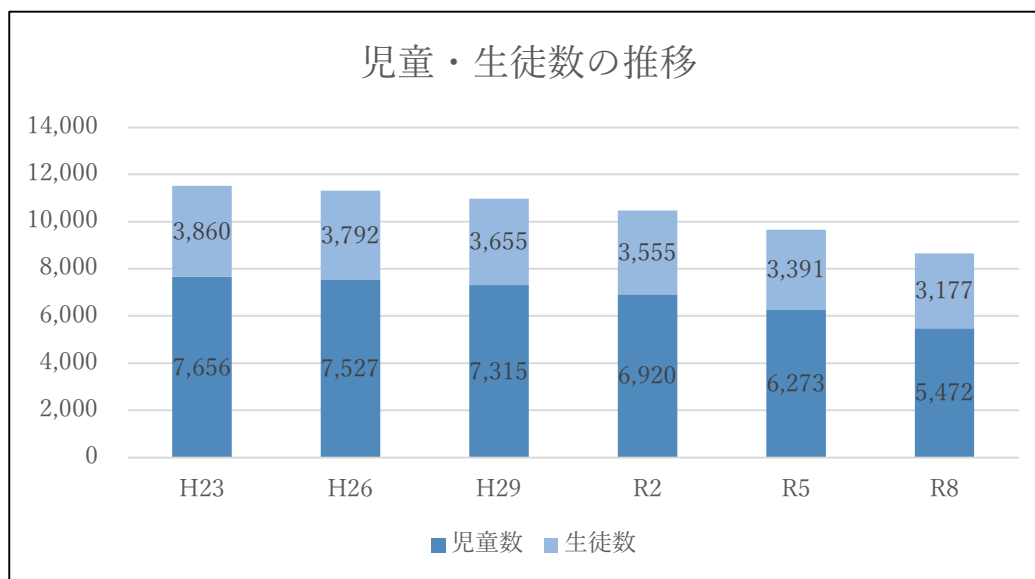
ただし、計画内容は、学校教育を取り巻く環境の変化や教育に関する制度改正、富士宮市における各種計画等を踏まえ、5年程度を目安に再編の進捗を検証し、計画内容の見直しを行います。

Ⅱ 学校の現状と課題

1 児童・生徒数の推移

小・中学校の児童・生徒数は、平成23年では、児童数7,656人、生徒数3,860人でしたが、令和8年には、児童数5,472人、生徒数3,177人に減少しており、児童・生徒数の合計は、15年前に比べ約25パーセント減少しています。

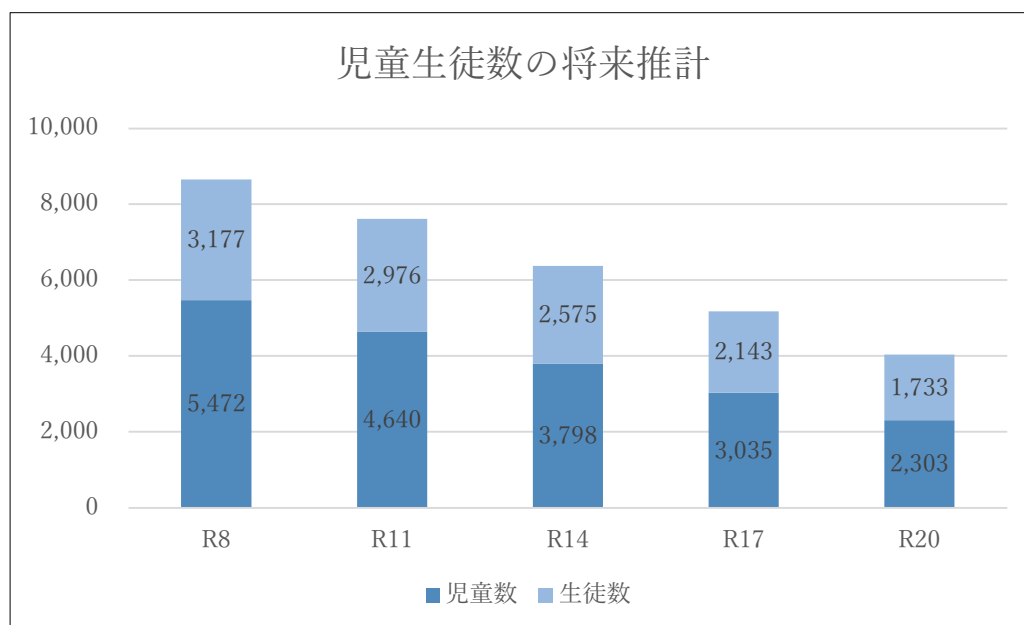
(単位：人)



2 児童・生徒数の将来推計

小・中学校の児童・生徒数は、令和20年には、児童数2,303人、生徒数1,733人となり、令和8年度に比べ約55パーセント減少する見込みです。

(単位：人)



3 児童・生徒数及び学級数の現状

小学校は、6学級以下の学校が12校あり、そのうち4校には複式学級が存在します。一方で、25学級以上ある大規模校は2校あります。中学校は、3学級以下の学校が4校あります。また、19学級以上の大規模校は1校あります。

学校教育においては、児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばし、社会性を育むことが重要であり、小・中学校では一定規模の児童・生徒数であることが望ましいと考えられます。少子化の進行で、今後こうした環境が確保できない学校が増えていくことが予想されることから、学校の再編や統合によって教育環境を改善していく必要があります。

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	児 童 数							学 級 数
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	合計
東 小	67	73	77	64	95	77	453	16
黒 田 小	82	70	75	96	90	79	492	17
大 宮 小	68	63	84	65	66	85	431	13
貴 船 小	67	70	70	97	90	96	490	15
富 丘 小	101	106	118	119	125	111	680	23
西 小	9	10	10	11	12	19	71	6
大 富 士 小	124	129	126	146	129	138	792	25
富 士 根 南 小	109	144	135	151	144	147	830	25
富 士 根 北 小	10	23	13	22	25	18	111	6
北 山 小	18	25	23	33	24	24	147	6
山 宮 小	12	15	16	14	20	15	92	6
上 井 出 小	7	7	14	9	15	9	61	6
人 穴 小	6	2	3	3	5	1	20	4
井 之 頭 小	2	4	7	10	10	4	37	5
白 糸 小	4	6	15	9	10	18	62	6
上 野 小	33	19	19	21	27	41	160	7
富 士 見 小	44	53	53	58	57	59	324	12
芝 富 小	23	16	16	26	15	17	113	6
内 房 小	4	3	3	4	1	4	19	4
柚 野 小	8	10	12	16	15	18	79	6
稲 子 小	0	1	0	1	3	3	8	2
合 計	798	849	889	975	978	983	5,472	216

備考 児童数には特別支援学級の児童数を含み、学級数には特別支援学級数を含まない。

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	生 徒 数				学 級 数
	1 年	2 年	3 年	合 計	合計
富士宮第一中	156	187	148	491	16
富士宮第二中	76	87	88	251	8
富士宮第三中	94	85	90	269	9
富士宮第四中	162	166	188	516	16
富士根南中	195	214	218	627	19
富士根北中	23	8	24	55	3
北 山 中	50	50	40	140	6
西 富 士 中	23	29	22	74	3
井 之 頭 中	8	6	8	22	3
上 野 中	36	46	50	132	6
大 富 士 中	143	144	154	441	15
芝 川 中	30	41	32	103	4
柚 野 中	15	21	20	56	3
合 計	1,011	1,084	1,082	3,177	111

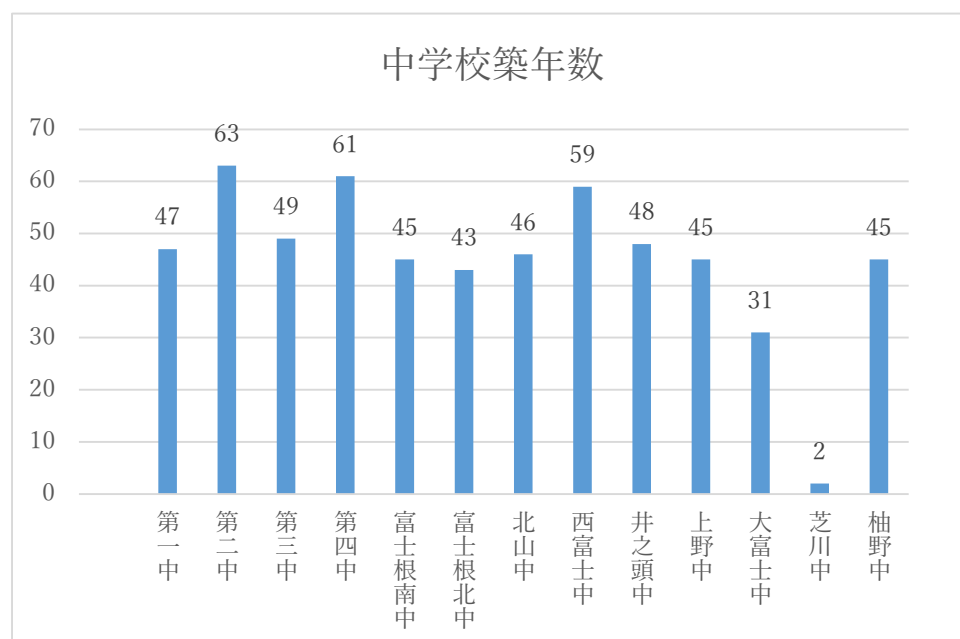
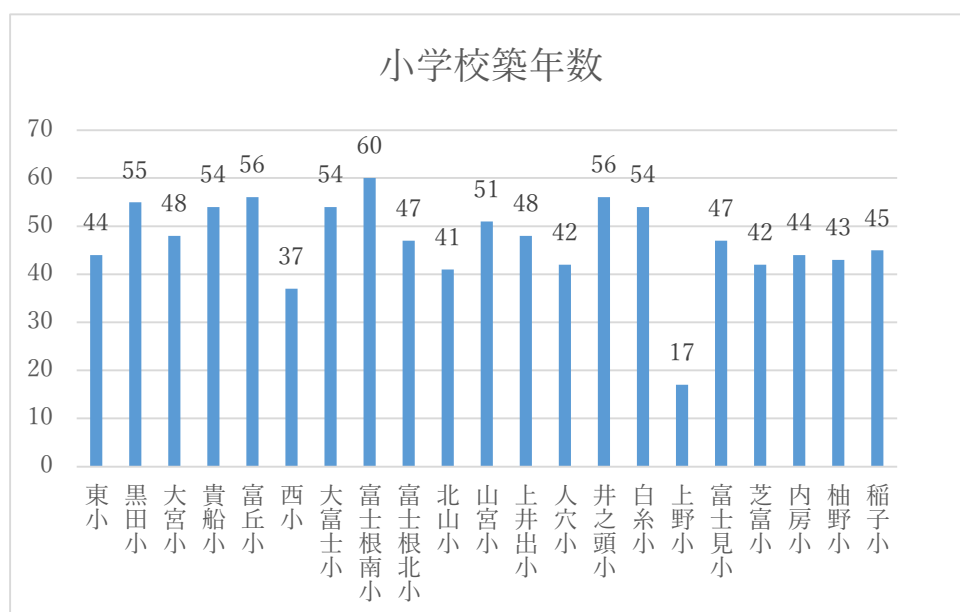
備考 生徒数には特別支援学級の生徒数を含み、学級数には特別支援学級数を含まない。

4 施設整備の状況

昭和50年代前半までに建設された学校が多く、築40年を経過し老朽化が著しいことから、計画的に校舎の改築等を行ってきましたが、東日本大震災を契機に校舎の耐震化が急務となり、校舎の耐震補強を先行し実施してきました。

このような状況の中、児童・生徒の安全・安心かつ快適な学校生活のため、引き続き適正な維持・管理を実施していきます。

また、学校の再編を行う際には、富士宮市公共施設再編計画との整合性を図りながら校舎等の整備を行っていきます。



Ⅲ よりよい教育環境づくりを目指して

1 富士宮市の目指すこども像

富士宮市では、目指すこどもの姿を「富士山を心に、夢をもって生きるこども」としています。その具体像を「富士山は、やさしく励ましてくれたり、勇気づけたりしてくれる。そのような富士山を心に、未来に向けて、希望や夢をもって、一日一日を大切にして友達と協力し、勉強や運動に取り組み、いっしょうけんめい生きるこども」と捉えています。

2 富士宮市の目指す学校教育

学校教育は、「一人一人のこどもは、かけがえのない存在である」という考えを根底において取り組まなければなりません。その上で、変化の激しい社会を生きるために必要な力の育成を目指します。

そのために、社会の変化に目を向け、教育が普遍的に目指す根幹を堅持しつつ、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」が期待されています。この教育課程の理念の下、学校教育を通じて「生きる力」とは何かを具体化した資質・能力を育んでいくこと、社会とのつながりや各学校の特色づくりの軸としていくこと、こどもたちの豊かな学びを実現していくことが求められています。

この教育課程の実施に当たっては、幼稚園・保育園・認定こども園、小・中学校が、それぞれ指導の工夫をするとともに、連携・協働による一貫した教育が必要です。